

# 篁

会報 2022  
No.33

東京府立第二高等女学校同窓会  
東京都立竹早高等学校同窓会

past  
present  
future

## 特集

### 80年卒生「これがあるから頑張れる！」

第4回ホームカミングデーについて	2
ご挨拶 2021年の総会について	3
就活セミナー報告	4
句集「ワカタケる」	5
「これがあるから頑張れる！」	6
特別セミナー報告	10
学年幹事交流会報告	11
コロナ禍の学校生活・奨学生認証式	12
篁寿会 シニア会 湘南篁会	13
篁会理事会報告	14
篁会デジタル化進行中	15



# 第4回 竹早高校 ホームカミングデー

ニューノーマル時代の絆づくりを目指して  
リアル&オンラインで集う新しい「ワカタケる」のカタチ

2年連続リアルに集まれなかったホームカミングデー  
コロナ禍の出口が見えない中、今年のカミングデーを一体どうやって開催するか？  
また地方・海外の皆様、当日ご多忙の皆様にも参加してもらうには？と  
新しい集いの形を模索し初の“リアル+オンライン方式”にて準備いたしました。  
皆様のリアル and/or オンライン参加をお待ちしております！

**リアル開催 6月19日(日) 13:00 ~ 16:30**

参加費無料 教育基金への寄付にご協力をお願いいたします。

- 13:00 ~ 受付開始 新型コロナウイルス感染防止のためマスク着用、  
手指消毒等ご協力をお願いいたします
- 13:30 ~ 箏会総会
- 14:30 ~ ホームカミングデーイベント  
恒例校舎内ツアー “タケハヤ謎解きクロスウォーク”  
50年分 “卒業アルバム” 展示
- 15:00 ~ 交流会 食事の提供は控えさせていただきます。

**オンライン開催 6月19日(日) 13:00 から公開!**

〈オープニング映像「ワカタケる 2022」によせて〉  
〈79年卒生スペシャル オンライントークイベント〉

中山 浩典「ドローンでホームカミング」・平塚 毅「ハッ場ダムそれから」

コロナ禍の暮らしの中で私たちは様々な事に気づかされました。思いもしなかった事に影響が現れて社会を支える技術の力を改めて知ることでも度々でした。私たちの社会を支え、よりよいものにしてくれる技術に貢献している竹早の同窓生も多いことと思います。79年卒業生から空と大地と、場は異なりますが自然と向き合いながら時に困難に見舞われながらも特別な事を成しとげてきたお2人のストーリーをお届けしたいと思います。両氏のプロフィールは裏表紙をご覧ください。

〈気軽に楽しく俳句 ing 2022〉

今年も『句集 ワカタケる』を作成すべく、皆様から俳句を募集いたします。詳しくは5ページをご参照ください。

〈竹早高校在学学生たちの活動〉

- 吹奏楽部 演奏映像 (YouTube 限定公開)
- ダンスパフォーマンス部パフォーマンス映像 (YouTube 限定公開)
- 映像研究同好会 [https://twitter.com/tkhy\\_videoclub](https://twitter.com/tkhy_videoclub)



詳細、参加申込み右QRコードの専用サイト (<https://sites.google.com/view/wakatakeru>) から、または同封のハガキで6月12日(日)までにお知らせ下さい。当日の参加もOKです。なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

なおコロナ禍の状況によっては開催内容の大幅な変更、場合によっては中止となる場合がございます。6月9日(木)午前中に箏会ホームページ (<https://www.takamura-kai.com>) のトップに開催当日6月19日(日)に関する最終判断および実施内容を掲出致します。必ずご一読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



主催 箏会 <https://www.takamura-kai.com> 幹事年: 79年卒学年幹事会 協力 東京都立竹早高等学校

## 箎会会長ご挨拶

箎会会長 高倉 孝生

昨年の総会で会長に就任いたしました箎71回生の高倉です。日頃より箎会の活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。2020年2月からのコロナ禍は、皆様の日常生活にも様々な場面で変化をもたらしたのではないのでしょうか。私も公式な飲食会合は全く参加しておりません。

昨年箎会は、コロナ禍にあって、シニアと若手との連携により少しずつ前進いたしました。特に「箎会LINE」の開設は、卒業生交流に強く結びつくと期待できます。更に開催危ぶまれた特別セミナーも、大学生理事の尽力で、リモートとリアル併用の開催となり、篠辺前会長の基調講演と7名の卒業生講師による充実したキャリアセミナーとなりました。

また、理事会も同様にオンライン参加できるようになり、大学生中心の就活セミナーもオンラインで行い、積極的な質疑も交え、就職活動をする前のテーマとして好評でした。一方で残念なことに総会をはじめ恒例の行事は中止せざるを得ませんでした。コロナ禍の状況を見ながらなんとか開催できないかを祈っていました。同窓会の原点は交流の場での仲間との出会いだと思います。これからも箎会が卒業生にとって進化した「いこいの杜」となるよう若手とシニアの理事で力を合わせて推進してまいりますので、引き続き皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



## 竹早高校校長ご挨拶

竹早高校校長 堀切 哲弥

令和3年4月に竹早高校に着任しました堀切哲弥です。どうぞよろしくお願いいたします。箎会の皆様には、箎会特別セミナーや箎会教育基金をはじめ様々なご支援をいただき、大変ありがとうございます。今年度は、コロナ感染症対策が続く中で学校の生活が続いています。学校行事も公開できなかったのは残念でした。体育祭は、規模を縮小し本校グラウンドで6月8日に実施しました。グラウンドに出るのは学年毎で、他学年の競技はオンラインで視聴しました。9月の竹早祭は、3年生のアーナ劇、2年生の教室劇も観客の制限はあったもののライブで実施できました。工夫を重ねた結果、素晴らしいものになりました。

竹早高校に受け継がれてきた伝統や校風を大切にするとともに、変化の激しい社会で活躍できる人材を育成することを目指し、主体的に学ぶ力、多様な人々と協働する力、正解のない課題に挑戦し新しい価値を生み出す力などを伸ばしていきます。また、進学指導推進校、英語教育推進校、理数教育推進校の指定も活用し、生徒に「良い3C」(Chance [機会]、Challenge [挑戦]、Change [変化・成長])のある学校としていきます。今後とも箎会の皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 2021年度箎会総会報告

新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度に続き、2021年度総会はメールによる議事決議での代替開催と致しました。6月20日発信のメールで滞りなく全員の承認となりました。

### 議事

#### 1) 理事会体制

- i .会長：高倉孝生氏 (1971年卒) 就任の件 (篠辺修氏は顧問に)
- ii .副会長：高橋政行氏 (1973年卒)、宮沢和正氏 (1974年卒) 三野直子氏 (1974年卒) 就任の件
- iii .新理事推薦の件 鳴沢清隆氏 (1979年卒)、源美恵子氏 (1979年卒)、本庄 忍氏 (1979年卒)、柳屋克子氏 (1983年卒)、白井 颯氏 (2019年卒)、池ヶ谷駿介氏 (2020年卒)
- iv .理事任期延長報告 戸聡史氏 (1982年卒)、 監事任期延長報告 岩井良輔氏 (1976年卒)

#### 2) 監査報告に基づく令和3年度決算案承認、令和4年度予算案承認

#### 3) 事業計画について

- i .総会、ホームカミングデー企画、竹早高校文化祭出店企画「お休み処」出店計画は中止
- ii .広報委員会活動計画、活性化委員会活動計画の承認
- iii .LINE ネットワーク構築の件 承認

## 第3回ホームカミングデーの中止を乗り越えて…

6月と10月に就活応援セミナーを開き、8月には「気軽に俳句ing」に投稿いただいた、23名40句の作品を中田淳子さん(78回生)の講評とともに「句集ワカタケる」として発行しました。

### コロナ禍の就活生をサポートする就活セミナー

2021年度、篁会では「就活セミナー」を2回開催しました。6月に開催した1回目は基礎編と題して、2019年のホームカミングデー以来、2年ぶりの対面実施を予定していました。しかし、直前のコロナウイルス感染拡大を受け、初のオンライン形式での開催となりました。

セミナーは教職編と民間企業編に分かれており、教職編は杉淵理事と篁117回生・筒井さんに講師をお願いしました。翌7月に控えた本番の採用試験を念頭に、最新の論文対策や面接・集団討論対策をお二人から参加者に伝授いただき、後半は試験官経験のある杉淵理事と2020年度に採用試験を受けたばかりの筒井さん両名の経験談を語っていただきました。

民間企業編は大森理事、東島理事、堤谷理事、118回生・渡邊さんの4名が講師を担当しました。就活を始めたばかりの大学3年生をメインターゲットとし、最初に行うべき自己分析や業界選びのコツをそれぞれの経験をもとにお話ししました。タイプの異なる4名の経験談から、就活において「自分にとっての最適解」はあっても「万人に当てはまる定理」はないということが参加者の皆さんに伝わったのではないかと思います。

10月に行った2回目は実践編と題して、民間企業志望者をターゲットに東島と堤谷理事からエントリーシートや面接対策をお話ししました。コロナ禍がもたらした面接のオンライン化という「大変化」に対応したテクニックをはじめ、最新の就活事情をお伝えしました。また、就活市場における大人気企業で人事担当として長年活躍された高倉会長や面接官経験のある吉田副会長からは採用担当者の本音を語っていただきました。参加者にとっては「自分が何をしたら良いか」と「相手(採用担当)は何を見て、どう判断するのか」という2つの視点を得られる機会だったと思います。全2回開催した本年度のセミナーはどちらも20人程度の参加者が集まり、対面開催時とほとんど変わらない規模で実施することができました。

本セミナーは本年も6月に開催予定です。参加される学生会員の皆さんにとって本セミナーが、巷でよく行われるそのようなテクニック論に終始する「就活予備校」ではなく、多様化する価値観や急速に変化する社会・経済に対応した「同窓生応援団」のようなものでありたいと考えております。そのために、その年の最新内定者や各業界で活躍する社会人に講師をお願いし、常にアップデートしつつ、就職後の明確なイメージまで描けるセミナーを目指して参ります。

キャリアは内定をもらって完結するのではなく、そこから始まり、その先で活躍していかなければなりません。キャリアをスタートした後も役に立つセミナーの実現に向け、引き続き会員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。  
(東島粹生 2017年卒)



それぞれの就活体験を語る3名



参加者に語る吉田副会長をサポートする堤谷理事



本番に向けて打ち合わせに力が入る杉淵理事と筒井さん

# 句集 ワカタケる

2021ホームカミングデーイベントは中止になりましたが、「気軽に楽しく俳句30」に投句いただいた皆様の力作を「句集」にしました。ここに紹介いたします。

## ■ 竹 ■

- 一 古竹も節目を期して桜見る
- 二 若竹の校舎変われど心同じ
- 三 若竹のあのしなやかさ今一度
- 四 竹の子飯変わらぬ味に安堵する
- 五 笑顔まで若竹のまま同窓会
- 六 人力車涼風運ぶ竹の道
- 七 早足の入学見おろす時計台
- 八 夏の朝早起き体操抗老化
- 九 早退し春風そよぐ日比谷公園
- 一〇 風吹いて鳥の聲早し梅の庭
- 一一 早弁のあとの黒板春霞
- 一二 懐かしき早坂(大) 先生雲の峯  
(注 ベルト代わりの古ネクタイに太つちよは入道雲です。)
- 一三 夏雲と早世の友と学び舎と
- 一四 若竹の早や吾が背丈越(にけり)
- 一五 早熟の竹は夕ヶノコ煮ても食えない
- 一六 早弁はフジモリのパン肥える秋

## ■ 夏休み ■

- 一七 流星群友と数えた夏休み
- 一八 観戦か感染か悩む夏休み
- 一九 夏休みどこか行きたしコロナ禍も
- 二〇 夏休み君の机にそっと触れ
- 二一 念願の気ままな旅や夏休み
- 二二 夏休み二週間かなニイマルニイマル  
(注 四、五月休校だった二〇二〇年、都立高校の夏休みは二週間でした。)

## ■ 自由季語 ■

- 二三 夕焼や何度目のダブルフォルトか
- 二四 黒麦酒バンドネオンのスタカート
- 二五 初孫に安産祈る吹流し
- 二六 夜明け前アザン響く月涼し  
(注 アザンはイスラム教のお祈り、当地では朝の四時三〇分頃にモスクから流れます。編集部注…当地はジャカルタ。)
- 二七 吹き乱れ一年ののちの春想う
- 二八 如月や生足しろき湯浴みかな
- 二九 梅雨寒や君といっしょのバス通学
- 三〇 脩形拳共に学びし夏のゼミ  
(注 生前、楽屋を訪問した時に母校の階段教室で学んだ昔話をした。)
- 三一 万緑に突っ込んで行く谷戸のバス
- 三二 見えぬほど聞こえぬほど春の雨
- 三三 びわの実の生まれし吾子の顔に似て
- 三四 ビアカップ来し方思い泡あふれ
- 三五 コロナ夏で友情増幅思慕発症

三六 夏速く秋も走ってとどまるでなし  
三七 学び舎に燕翔び交う夏近し  
三八 たまやとコロナ吹きとぶ夏空へ  
三九 盆休みワクチン受けて里帰り  
四〇 教室の声もまぶしき夜替え  
竹皮を脱ぎて伸びゆく早さかな  
中田 淳子  
【78期生の俳人 イベント主催者】

今年も「気軽に俳句30」へ投句をお願いします。同封のがき、または、ワカタケる公式サイトのエントリーフォームで、たくさんのご参加をお待ちしています。

### 〈今年のお題〉

「竹」「早」「空」「水」+季語または自由季語

※一人二句まで



## 80年卒生

# 『これがあるから頑張れる!』

昨今のコロナ禍で還暦を祝う同窓会はもちろん、仲間内での集まりもままならない日々が続いています。マスク・手洗い・ソーシャルディスタンス。慣れたとはいえ、気が滅入ることもあるかと思えます。そんな時、みなさんは何をしていますか。

仕事に没頭(!?)、趣味に励む、いつかやってみたかったあんなこと、今だからこそできるこんなこと…そう、自分の好きなことがあれば“明日も頑張ろう!”と力が湧いてくるはずです。

そこで、今回は私たちが今を楽しく生きるために頑張っていることを集めてみました。年齢を重ねても好きなことを続けられるってとても素敵なこと。仲間たちが楽しんでいる様子を知ることでもみなさんに少しでも元気をお届けできれば幸いです。

### 宇宙はダイナミックだ! Aルーム 中村 有紀

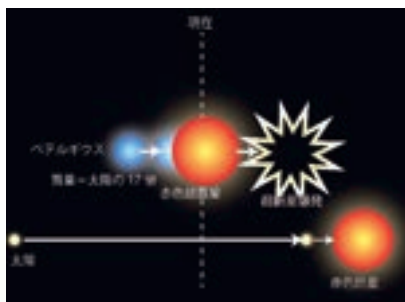
2020年2月、オリオン座の1等星ベテルギウスが減光した。2等星ほどに暗くなり、一目で違和感を覚えるほどだった。この星は太陽の20倍近い質量を持ち、一生の最期が近づいて赤く大きくなっていることがわかっている。超新星爆発(大質量星の最後に起こる大爆発)の前兆か、と騒がれたが、2021年末現在、明るさは戻ってほぼ安定している。

静かな夜空のイメージに反して宇宙は常に変化している。超新星は毎年何百も見つかっているし、オリオン大星雲の中では今でも星が生まれている。星の一生も様々で、ベテルギウスは、恐竜のいた時代にはまだ生まれていなかった。太陽は生まれてから46億年もたっているが、そしてまだ50億年輝き続けるが、ベテルギウスのような大質量星は、一生が一千万年程度しかないのだ。

昔から宇宙が好きだった。小学校に入る頃にはプラネタリウムに通っていた(星座と神話に飽きてすぐ行かなくなったが)。小中学校では外国TV映画「謎の円盤UFO」(1970)や宇宙を舞台にしたアニメ「ゼロテスター」(1973)に憧れた。そして高校2年生の秋、当時池袋西口にあった芳林堂書店で見つけたのが「宇宙の果てへの旅 夢の観測船でたどる最新の宇宙像」(大和出版のち新潮文庫)である。著者の海部宣男氏(1942-2019)はのちに国立天文台長を務める天文学者で、当時は若手の助手であった。宇宙船で旅をしながら、様々な天体を巡り、学んでゆく筋立てのこの本で、私はダイナミックな宇宙と、それを解き明かす宇宙科学にはまってしまったらしい。

はまってしまったら、まあ、がんばってしまうものだ。しかし、それは必然的に、抜け出す方向へではない。

結局、大学で物理や天文、化学などを学び、プラネタリウムの企画と解説という職業に就き、星座や神話よりも科学と真実を語る方針で、時には(常に?)難しいと批判されながらもやってきた。前出の書と趣は違うが、宇宙を旅する話もいろいろ作ってきた。星雲のそばを通り、星のそばを通る時は、宇宙科学がイメージを思い浮かべるのに助けになる。科学を使った空想の旅は、楽しいものだ。そういえば、高校を卒業した1980年にブームになったカール・セーガンのTV番組と本「COSMOS」も、想像の宇宙船で出かける話だった。



現代では人間が宇宙へ行くことも当たり前になった。誰もが気軽に旅行する日も、いずれ来るのだろう。しかし、世の中に科学的思考が広まったかと言えば、理論的に考えて行動するよりも、空気を読んで忖度する場合の方が多くなっているようにも思える。

自然は忖度では動かせない。重力の性質を知らなければ宇宙ロケットは作れないのだ。そして、重力の働きは万人に共通で、ダイナミックだ。それを知るの、やはり楽しい。

### 中学生・高校生の元気な姿 Bルーム 俵田 浩一

毎日マスクを着用して外出し、一日何回も手洗いをする生活が続いています。感染のピーク時は、連日感染者数のニュースがテレビやネットニュースで放映されていました。感染に対する不安とともに、これまで経験したことがない生活に戸惑いながら日々を送りました。幸いなことに、我が家においては、感染者が発生しない状況が続いていることに感謝している毎日です。

職場においても慣れない生活や新たな対応に追われる日々が続きましたが、そんな時に力を与えてくれたのが、中学生・高校生の元気な姿でした。私は、現在都立大泉高等学校・大泉高等学校附属中学校に勤務しています。都内に

10校ある併設型の都立の中高一貫教育校です。中学生と高校生が一緒にの校舎で生活している学校です。授業はもちろん、放課後の体育館、グラウンド、テニスコートでの部活動など、たくさんの生徒が元気に活動しています。

体育館で活動している男子バスケットボール部の練習風景を見ていると、自分が高校生の時のことを思い出します。当時の竹早の体育館の床は、他の学校とは違って木ではないために、硬く滑りやすい床だったことが思い出されます。暑い夏の体育館、寒い冬のピロティーでの練習、先輩や後輩との思い出など、高校時代の部活動で仲間と一緒に汗を流した経験は卒業後何年たっても忘れません。高校時代の仲間との思い出は、長い人生の中でたった3年間の期間ですが、人生の中でとても貴重なものだと思感しています。

この原稿を書いている令和3年12月現在、学校生活はほぼ平常に近づいています。授業や部活動、修学旅行も実施できる状況です。新型コロナウイルスの影響により、様々な制約が生じる毎日ですが、中学生や高校生の若さあふれる姿を見ることで、日々新たな活力とエネルギーをもらいながら生徒たちの活動を応援しています。

最後に、わが母校竹早高校との繋がりについて書かせていただきます。私は、竹早高校に通算13年と2週間通いました。高校生として3年間、教育実習生として2週間、教員として10年間竹早高校に通いました。高校時代は5階建ての旧校舎、教員時代は改築から現在の校舎へと2つの校舎に思い出があります。現在の学校では、保護者の中に高校時代の同級生や竹早で教えた生徒がいました。また、竹早教員時代にバスケットボール部で教えた生徒が複数教員になり、本校に練習試合に来ることがあります。そして、現在の学校の教員には、竹早高校の卒業生や竹早高校で教鞭をとったことがある先生方もいます。これからも竹早高校との繋がりを大切にしていきたいと思います。



## 絵本のような人生を生きる Cルーム 坪内 ゆみ (浅波 由美)

私が暮らしているのは、伊豆半島の真ん中に位置する伊豆市下船原。そこから、修善寺駅の近くにあるギャラリーCotori～ことり～に車を走らせる。目の前には、真っ白な雪を頂く富士山、光を浴びて輝く狩野川、そして、晴れ渡った青空が広がっている。今日は、市役所の企画財政課が手がけるふるさと納税のプロジェクトを紹介するため、Cotoriをスタジオとして動画を配信するのだ。担当は、外国語も堪能な優秀な女子職員。かつての教え子でもある彼女の仕事を応援できることに、心からの喜びを感じる。

高校卒業後、教員養成系大学に進み、東京都御蔵島村をスタートとして33年間小中学校教諭を務めた。児童、生徒、保護者、先生。多くの方々とのご縁をいただき、全く知らなかったこの「伊豆市」という場所で、充実した日々を送ることができた。

林住期を迎え、55歳で早期退職をし、絵本セラピーやパステルアートといった活動をしていたら、いつの間にかギャラリーオーナーとなっていた。絵本原画展、パステル画展など、企画展を開催する中で、今度は作家や出版社など多彩な方々と繋がっていった。東京育ちの両親も伊豆に移住し、小学校長を務める夫をはじめ、家族の協力を得ながら、ギャラリーCotori、和空間コトイロ、古民家小鳥村の3つの拠点を運営する社団法人修善寺Cotoriの代表理事として還暦を迎えている。力を入れてきたキャリア教育でも、高校や大学のゲスト講師として授業の機会をいただけるようになってきた。

今、歩いてきた道を振り返ると、心の支えとなっていたのは、恩師である藤原澄子先生と、現在も親交のある級友たちだったことに気づく。竹早高校に入学できたことに安堵して、早々に勉学への意欲を失ってしまった私。大切なことに向き合おうとせず、劣等感をごまかしながらその日暮らしの高校生活を送っていたあの頃。そんな私に、あたたかい言葉を送ってくれる人たちと出会うために、竹早高校時代はあったのだ。

人生は絵本のようなもの。ある時突然場面が変わり、新たな登場人物が現れる。そこには、ともに歩んでくれる仲間も欠かせない。Cルームだった千秋さん、小沢くん、溝口くん、三浦くん、幸子さんは、節目節目で会いたくなる、とても大切な存在だ。今回の会報寄稿を機に、さらに多くの竹早同窓生の方と繋がれたらと願っている。

私たちは、藤原先生の最後の教え子だった。ご勇退されたのと同じ年になった今、もう一度18歳の私へのはなむけの言葉を囁み締める。

「しっかりやるのよ。良い先生になってね。」

そうだ、わたしの教職の第2幕はこれからのなかもしれない。恩師と慕ってくれる人、「ゆみ先生」と呼んでくれる人。自然豊かな美しい伊豆で、これからも愉しく生きていこう!



## 重力との闘い～限界超えを目指す～ Dルーム 坪野松 勇二

「プレス」「スタート」「ラック」。これはベンチプレスの公式戦における審判の合図である。ほとんどの方はご存じないだろうが、筋トレと言えは多くの人が思い浮かべるベンチプレスには公式戦があり、現在の私はそこでしかるべき記録を残すべく「頑張ってる」。

私たち80年卒が竹早高校に在籍した3年間、私はDクラス、濱道彰先生担任のクラスに在籍した。その中で「頑張ったこと」を思い返してみたが、印象深く思い出されるのは竹早祭で3年連続グランプリを獲得したことであろうか。当時は各クラスの出し物に対し、生徒や父兄などの来客からの投票があり、1位にはグランプリの称号が与えられた。Dクラスでは、1年次は映画、2年次3年次は影絵で受賞したと記憶している。残暑厳しい中、クラス中で教室にセットを組み、友人宅にこもっては8ミリフィルムの編集を行い、効果音もカセットテープの録音と停止を繰り返すという、デジタル化の進んだ今から見れば笑ってしまうような超アナログな作業であった。それでも、グランプリ獲得となれば、クラスみんなが頑張った結果を歓喜したものである。

さて、私が現在頑張っているベンチプレスに話を戻すが、元々は一般的なスポーツジムからバーベル種目の揃ったジムに移り数年間トレーニングの一環で取り組んでいたものにすぎなかった。そのうちジムのメンバーでこの種目で世界大会まで行った方と知り合い、仲良く話していく中で今年になって競技への参加を勧められ、こちらもその気になってまさに60の手習いで始めた、というのが事の次第である。

競技ともなるとただ力任せに持ち上げればよいというものではなく、冒頭のように審判の指示するタイミングで持ち上げなければならず、またフォームにも細かい規定があり、審判に認められないと記録はつかないという、独特の難しさがある。また、格闘家・アメフト選手のような素質も体格も無く、ごく一般的な体格の人間が体重を大きく上回るような重量を扱うには、フォームや身体の使い方など様々な工夫が必要になる。私自身も定期的に競技専門のジムで指導を受けており、結構努力はしているのである。

この競技の魅力といえば、月並みではあるが、努力が数字としてはっきり表れるそのわかりやすさであろう。また先述の通りパワーのみならずフォームにも工夫が求められるので、毎度試行錯誤の繰り返しであり、思った結果が出た時の達成感はひとしおである。集中力を欠けば大怪我にもつながるので、余計なことは考えずストレス解消にも役立っている。

トップクラスともなれば小柄な女性でも100キロを超え、自身の体重の2倍以上の記録を出す世界である。私のような凡才には及ぶべくもないが、年齢・体格を限界として言い訳することなく、より高みを目指して頑張っていきたいと考えている。



## レコード、そして趣味と仕事。 Eルーム 保木 哲也

「趣味、でやってるんですか?」

ひととおり店の中を眺め、好きな音楽の話がひと段落したところで、その初老の男性が不意に問い掛けてきました。

「いいですねー、好きなものに囲まれて」

この小さな店を訪れた方が少なからず口にする台詞です。その度に、同じ職業の友人が小さな子供を懸命に育てていることを思い出し、趣味なものか、と心の中で毒づいたりもします。

33年の長い年月を過ごした勤め先、中古CDやレコードの販売を取り扱うチェーン店の管理職を自ら退き、自分の店というものを開いたのが一昨年7月末、まさにコロナ禍第2波の最中でした。選んだ場所は文京区、湯島天神にほど近く、我らが母校の隣町と言ってもよいエリア。子供時分にはよく松坂屋に連れて行かれ、扁桃腺の手術をしたのもこの辺り。何しろ菩提寺が春日にあるわけで、そりゃまあ縁深い土地なのです。

取り扱うのは中古のレコード・CDと古本、オールジャンルの街のレコード屋を基本スタンスに、少しは自分の好きなものも並べ、日々新たなお客様との出会いを楽しんでいます。





5歳上の姉の影響もあってか小さな頃から流行りの洋楽に親しみ、初めて買ったLPがモンキーズのベスト盤、確か小学5年の頃でした。以来、なけなしの小遣いでレコードを買い集め、気付けば売る方の立場となって働き続け、それ以外の仕事を知らぬまま還暦を迎えた次第です。

前職で度々採用面接を任せられ、音楽業界というようなものに憧れている応募者と話すときに決まって釘を刺したのが、売るものは派手だけど仕事は地味、ということでした。特に中古品メインの商売では、きらびやかな新譜の世界とも距離があり、他人様の使ったものを磨いて商品に仕立て上げる作業が日々の営み。埃っぽい仕事場は「ギョーカイ」からはほど遠いものなんです。それに自分の好きな音楽だけ売っていく、というわけにもいきません。人の好みは十人十色、商売としてやるからには何でも受け入れる気持ちがないとやっていけない。「趣味とは違う、地味な仕事」。わがままが通るはずの個人店の今でも、それはたいして変わらないものです。そもそもレコード屋なんて「無くっても、無くってもいい」ようなシロモノ。実際長く働くうちに何度も商売の危機が訪れ、業界自体も縮小しているのが実情です。

それでもしがみついているのは、やはりレコード屋という空間が自分にとってとても居心地の良い空間かも、という思いがあるから。音楽の話が通じる仲間やお客様。そしてプレーヤーに乗せればいつでも音を奏でしてくれる円盤たち。なんだかんだでこの歳になるまで此处で過ごしてしまいました。

あ、『好きなものに囲まれていい』、は当たってましたね。

## 「何のために頑張るのか!」そして「何のために生きるのか!」

F ルーム 宮澤 一則

竹早高校に入学してから、もう45年が過ぎようとしている。出願や受験は小石川高校だったので、入学手続きを行うまでは、竹早高校のことを全く知らなかった。当時は41群という学校群制度があったため、小石川高校と竹早高校のどちらに入学するか、受験生には分からなかった。多くの男子が竹早高校への入学を知って、がっかりしていたことを思い出す。校庭が広くて運動部が盛んな小石川高校を希望している仲間が多かったからである。しかし、生活してみると竹早高校もなかなかであることが実感できた。面白くて楽しい友達がたくさんいたし、会話をしているとも知性が感じられた。ちなみに、私の妻も竹早高校で知り合った。高校時代は野球部に入っていたが、校庭が小さいので、バッティングはボールが飛ぶといけないうえ、新聞紙を丸めたものを打っていた。部活帰りには、よく木村屋のパン屋に寄り道をしていた。そんな仲間も医者になったり、社長になったり、結構頑張っている。やはり、それなりに力があつたのかと改めて思うことがある。



私も、現在板橋区の中学校で校長となっており、全日本中学校長会の会長と日本中学校体育連盟の会長も務めている。おそらく当時の仲間が知ったら、「お前がかあ!」と言うであろうことは、容易に想像がつく。自分としても、こうなろうと強く思っていたわけではなく、いつの間にか、このようになっていたという方が正しい。振り返ってみると、自分の夢や何(誰)のために頑張ってきたかも、だいぶ変わってきた。小さい頃は、親や先生に褒められると嬉しかったので、一生懸命頑張ったと思う。中学生くらいになると、女子にもてたいとか、仲間にも認められたいとか、周囲を気にしながらやってきた。中学校の時に友達が白血病で亡くなったこともあり、医者になって病気を治したいと考えたこともあった。しかし、そこまでの頭がないので、医者や断念し、子供のために尽くせる教師の道を選んだ。

私は、教師として永年教育に携わってきたが、今年で定年となる。この歳になると、誰のためとか、何のためとかよりも、私たちがこの世から去ったあとのことが気になる。私の学校の生徒たちに「なぜ、学習するのか?」と尋ね、「それは地球を救うためである。」と話している。たくさん学んで知識や技能を身に付けることが、社会に出て働くときに役に立つ。世の中の役に立つということは、それだけ貢献できるということであり、突き詰めれば地球を救うことになるのである。「働く」という言葉には「はた」を「らく」にする、つまり、周囲の人を楽にするという意味がある。これも広く考えれば、周囲の環境をよくしていくということである。今のうちに、未来の地球のために行動し、これからの人たちにつなぎたい。

## 竹早高校 特別セミナー

コロナウィルスに世界中が様々な負の影響を受けた2年目の夏、ワクチン接種の普及もあり、また、講師の皆様の英断もいただき、恒例の特別セミナーを7講座実施することができました。

7月15日に実施しました特別セミナーでは、5校時に箠会顧問の篠辺修氏による基調講演、6校時に各分野から7名の卒業生から仕事のあり方、人生の生き方を熱く語っていただきました。また、コロナウィルスによる様々な困難を乗り越える工夫や苦勞等、現状況下でしか語れない話もあり、いつも以上に心に残るセミナーとなりました。

生徒の感想文には講師の皆様の仕事に対する情熱と責任感に、自分のこれからの指針とするような言葉が面々と綴られており、どんな状況でも前向きな姿勢で取り組むことをメッセージとして受け取っていると実感しました。

特別セミナー委員会

講演テーマ		講師名
海外留学を目指そう今できることは何か	'71	水田 茂夫
うちは教育しか残してやれない「父の言葉」より	'74	川戸 直美
企業経営の本質とデジタル革命への対応	'75	小松原 聡
理科系へ進む人へ 社会資本の整備を担う技術者とは?	'75	田村 浩之
医療における薬剤師の役割	'76	佐々木 章子
商社の仕事を通じて、世界と繋がる	'93	福田 圭馬
3つの嬉しさをつくること	'75	吉田 賢治



### 特別セミナー講師大募集

特別セミナーの講師を募集しています。セミナーは、例年7月中旬に1年生を対象に午後の授業時間に行っています。先輩として生徒に伝えたいこと、学生生活や社会人としての経験談など、45分間の授業枠です。

生徒からは、社会の動きや働くことの意義が分かり、進路選択の参考になった、違う講座も聞きたかったと感想が寄せられています。

日程によって、都合が合えばという条件で講師を務めてもよいという方は、お知らせ下さい。

ご連絡は箠会お問い合わせフォームからお願いいたします。

フォームはブラウザに <https://forms.gle/TMx3oq9Nx7w1PefQ9> を入力するか  
右記QRコードを読み込んでいただくと表示されます。



# 2021年度も「学年幹事交流会」を実施しました！

2022年3月27日、竹早高校(被服室)にて今年度(2021年度)の「学年幹事交流会」が開かれました。今年度の卒業生は竹早74期生、篁122回生となります。

この「学年幹事交流会」は、毎年3月に実施されています。例年その年の卒業生から選出された代表者(篁会では「学年幹事」と呼んでいます)、その前年の学年幹事、および前々年の学年幹事に出席を依頼し、篁会の存在を今一度思い出していただくことが目的です。併せて、学年幹事の役割および責任についてお話をしたり、篁会の近況について報告したりしています。

当日は122期生、120回生のうちからあわせて14名にご参加いただきました。今般の状況を鑑み、例年に比べると小規模での開催となってしまいましたが、例年よりも心理面で“密”な交流会になりました。

当日は高倉会長よりお話をいただいた後、参加者同士で幾つかアクティビティを実施しました。また、篁会という組織について改めてお話をし、篁会が何をしているのか、学年幹事や学生理事の役割などについて理解していただきました。参加者の方からも「同じ学年の子だけではなく、先輩方ともミニゲームを通して楽しく交流できてよかった」、「有意義なものだった」などという感想を得られています。

この「学年幹事交流会」が一つのキッカケとなり、篁会が大学生をはじめとする若手にもっと寄り添えるものとなるよう努めて参ります。そして最後に、篁122回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ようこそ、篁会へ。一緒に竹早高校を支援し、盛り上げていきましょう！

文責：池ヶ谷(2020年卒、竹早72期生、篁122回生)



篁会の説明をしています



アクティビティをしています



アクティビティをしています

## 会報誌特集ページおよび会報編集長・ホームカミングデー担当年次について

篁会では、その年度に満60歳を迎える卒業年次に特集ページの原稿制作をご担当していただいております。そして特集担当の翌年には会報編集長を選出し領域を拡げて会報誌全体の制作進行を行って頂き、併せてホームカミングデーの準備と実施を執り行っていただくことを継続しております。毎年秋から制作を始め編集会議を月1で開催します。

22年度の特集ページは1981年卒、編集長、ホームカミングデーは1980年卒が担当です。

広報委員会では制作に参加、協力して下さる方をお待ちしております。

時に思い出を語り、時に新しい発見をしつつ楽しく活動をいたしましょう。

広報委員会委員長 吉田賢治

ご応募、ご質問等は下記、篁会お問合わせフォームからお気軽に！

<https://forms.gle/TMx3oq9Nx7w1PefQ9>



## コロナ禍にあっても力を合わせ、竹早高校生は、生き生き頑張りました

### 昨年度DVD制作の経験を活かし、オンライン竹早祭開催。強い絆が生まれました。

今年度の竹早祭はオンラインで各団体の映像作品を視聴するという形での開催となりました。昨年度のバーチャル開催（DVDの配布）の経験を生かし、映像制作はスムーズに行うことが出来ました。

また、夏休みからクラス全員で主体的に準備を重ね大きな絆が生まれました。三年生によるアリーナ劇や二年生によるクラス劇も行うことができ、竹夕祭りも事前に録画をする形で実施しました。伝統の継承という点でも、とても有意義な文化祭になったと感じています。

ただ、時間の都合上すべての作品を観ることは叶わず、電子機器の不具合などアクシデントもありました、これらの反省を踏まえ、来年度の竹早祭も思い出深いものへとしていきます。

### 規模は縮小すれども、竹早グラウンドでリアル体育祭開催。盛り上がりました。

昨年度は感染症対策の観点から中止になってしまった

体育祭ですが、今年度は竹早のグラウンドに場所を移し、規模を縮小して開催することが出来ました。三年生以外は竹早祭を知らない状況での開催となりましたが、実行委員の皆さんが広報誌を発行、例年の様子を紹介するなどの多くの工夫があり、思い出に残るものとなりました。

特に有志の生徒によるダンスパフォーマンスは画面越しでの観覧となりましたが、生徒が最も盛り上がった瞬間でした。

今年度の体育祭の思い出と、感染症により思い通りに出来なかったことの歯がゆさをバネに来年度の体育祭がさらに盛り上がるよう、引き続き生徒全員で協力していきます。

(高校1年 盛 爽子)



## 箆会教育基金・奨学生認証式

2021年9月27日実施

毎年行っている在校生への奨学金授与は、今年で10回目を迎えます。3年生を対象に募集、審査を経た選考により5名の生徒が選ばれ認証式が行われました。各自が自分の未来を語ってくれました。

**藤井 愛子さん**◆私は将来、管理栄養士として本当の健康と食の楽しさを伝えられる仕事に就きたいと思います。肥満、生活習慣病になる人の増加や、忙しさから食を楽しむことが損なわれているなど、現代日本が抱える問題を解決し、人々の生活と心を豊かにしたいです。

**松田 理玖さん**◆この三年間、出会った大切な人達は多くの影響を与えてくれました。高校生活で得た沢山のことを糧に卒業後は大学に進学し、より深く専門的な学習をしたいと思っています。これまでできてもらったことを、今度は自分が地域社会に還していける人間になりたいです。

**高山 未愛さん**◆私は二年間生徒会役員を務めました。その中で地域のボランティアや、竹早高校との関わりが深い他校との交流会などに参加しました。これからの大学生活、その先の未来に竹早高校でのさまざまな経験を活かし、卒業後も竹早高校とのつながりを大切にしたいです。

**岡本 みいさん**◆現時点で就きたい職業は決まっていませんが、最終的には「グローバルに活躍する」人間になりたい

と思います。大学進学後は何事も恐れず行動し、様々な経験を通じ視野を広げていきたいです。御恩をキャリアアップに繋げ、いつか恩返し出来るよう精進します

**長谷川 楓さん**◆私は建築学を学び、住む人に優しい家づくりができる建築士になりたいと思います。災害の多い日本ゆえ、立地や環境、耐震性などに配慮して住む人に安心を届け、表現力・創造力を発揮し、住む人の理想とする住空間をデザインできるよう学問に励んでいきます。



## 最後の篁寿会を計画しています

コロナ禍で2年間開催できませんでした。最後の篁寿会を開こうと計画しておりますが、今年もオミクロン株の感染拡大で実施できるかどうか未定です。

会場は10月30日(日)で予約してあります。状況をよくみながら、開催については直接ご案内状をお送りします。結果は次号の会報にてご報告いたします。

(佐藤美紗子 1964年卒)



篁会顧問 松本紀子さん  
(1941年卒)

## シニア会は10月8日予定で準備を進めています

篁寿会同様会場の予約は完了していますが実施についてはいまだ不透明です。

該当学年の方々には参加申し込み用のはがきが同封されていますので、ご希望の方はお送りください。時期が近づいてきましたら、実施あるいは見送りについて、お申し込みの方々に幹事からご連絡いたします。

・日時 2022年10月8日(土) 開宴：正午  
(受付開始：11:30)

・会場 学士会館  
・会費 7,000円

今回の該当学年は72回生以上ですが、その他の学年の方々も歓迎します。

お問い合わせは takamurasenior@gmail.com  
までメールでお願いします。

(佐藤美紗子 1964年卒)

## 湘南篁会だより

本年も、残念ながらコロナ禍のため総会を中止しました。ここで当会の決まりを話しますと、会場を「鎌倉プリンスホテル」にすること、懇親会終了時に、新・旧の「校歌」2曲を歌うことの二つです。このホテルは湘南海岸に面し、晴れた日には富士山が見えます。そして、旧校歌の「府立第二高女校歌」ですが、作曲は、あの有名な「故郷」を作曲した岡野貞一氏によるものです。大変美しい旋律で、いつまでも残したいものです。

歴史を振り返りますと、開設は昭和22年(1947年)で、鎌倉、逗子、藤沢周辺に居住する先輩方が、会員間の親睦を図るために結成したとのこと。その後70有余年に亘り、総会・新年会等を、年1回以上主に「鎌倉プリンスホテル」で開催し、現在に至っています。ここに少々前ですが、平成15年度総会の際の写真を掲載いたします。

(影本昌則 1954年卒)

### 府立第二高等女学校校歌



## 2021年度大学合格状況

国公立大学 57名(東京大1、京都大1、北海道大1、東工大2、一橋大1、農工大2、東京外語大2、東京学芸大2、千葉大8、埼玉大5、筑波大3、東京都立大5他)

私立大学 869名(早稲田大26、慶応大12、上智大14、東京理科大34、明治大59、青山学院大24、立教大45、中央大29、法政大64、学習院大16、国際基督教大2他)

\*詳しくは5月以降、竹早高校のホームページ(<https://www.metro.ed.jp/takehaya-h/>)>進路指導>進路状況をご覧ください

## 理事会報告

令和3年度の理事会報告は下記の通りです。

### ●第一回 6月20日付発信メールでの開催

- 承認
  - ・新会長推薦の件 (1971年卒 高倉孝生氏)
  - ・会長退任の件 (1971年卒 篠辺 修氏)
  - ・新副会長推薦の件
    - 1973年卒 高橋政行氏
    - 1974年卒 宮沢和正氏 三野直子氏
  - ・新理事選任の件
    - 1979年卒 鳴沢清隆氏 源美恵子氏 本庄 忍氏
    - 1983年卒 柳屋克子氏
    - 2019年卒 白井 颯氏
    - 2020年卒 池ヶ谷駿介氏
  - ・理事任期延長報告 戸次聡史氏 (1983年卒)
  - ・監事任期延長報告 岩井良輔氏 (1976年卒)
- 事業計画
  - 特別セミナー7月実施、奨学生認証式9月実施の件、会報誌編集他広報委員会活動の件、活性化委員会活動の件、LINEネットワーク構築の件 承認
  - 篁寿会、人間と社会につき未定

### ●第二回 9月4日 出席18名 委任状7名

- 承認
  - ・副会長、理事担務体制とプロジェクト推進内容
  - ・22年度会報誌より、訃報欄を無くす件
  - ・会報誌編集長(源理事) ホームカミングデーリーダー(鳴沢理事)
  - ・会報誌未送学年へのLINE登録願ひレター郵送
- 報告
  - ・オンライン就活セミナー結果 10～11月実施検討の件
  - ・スマホからの会費納入に関する検討

### ●第三回 11月20日出席16名 委任状8名

- 承認
  - ・ホームカミングデーのオンライン、リアル併用実施の件
  - ・特別セミナー推進リーダー変更(杉淵理事に)
  - ・篁会事業活動に関するデータ一元管理方法の件
  - ・2022年3月20日(日)「122回生学年幹事交流会」開催の件
  - ・「スマホ決済推進プロジェクト」発足の件

### ●第四回 2022年2月5日 出席16名 委任状8名

- 承認
  - ・ホームカミングデー開催日程(6月19日(日))
  - ・学年幹事交流会開催日程(3月20日(日))
  - ・篁会公式LINEアカウント開設案内DM内容及び5月発送
  - ・篁会活動の問い合わせ先設定方針
- 報告
  - ・会報誌デザインと編集進捗状況
  - ・ホームカミングデー・オンライン開催準備状況

### ●第五回 2022年3月27日 出席14名 委任状10名

- 総会承認事項確認
  1. 新副会長に杉淵明子理事(‘78年卒)の就任.
  2. 新任理事に緑川泰生氏(2021年卒)
  3. 理事継続 戸次聡史氏、川戸直美氏
  4. 理事退任、アドバイザー就任 大貫祥子氏
  5. 理事退任 松永茂樹氏
  6. 監事・岩井良輔氏任期1年延長
- 報告
  - ・広報委員会 ホームカミングデー、オンラインイベント内容と段取り
  - ・セミナー委員会 特別セミナー準備
  - ・活性化プロジェクト LINE電子決済システム 学年幹事交流会実施
  - ・予算案と決算報告案

## 篁会 2021・R3年度収支決算(案)

2021年4月1日より2022年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金 (特別会計を含む)	17,468,458	教育奨学金	300,000
入会金(新入会員)	2,136,000	教育援助金	100,000
年会費	1,964,216	贈呈記念品費(1年・3年)	313,040
受取利息	23	篁会特別セミナー(1年)	6,001
雑収入(寄付10万円)	105,000	会報発行費	2,335,165
特別会計へ	105,023	竹早祭出店	0
		篁寿会	0
		学年幹事連絡会	0
		校歌祭	0
		学年幹事交流会	10,000
		ホームカミングデー(含総会)	55,384
		総務費	29,469
		Webサイト運営保守	664,400
		Web・HP管理費	14,080
		DX推進費(新規)	283,228
		訃報関連諸費用	757,088
		小計	4,867,855
小計	4,205,239	次年度繰越金	16,805,842
合計	21,673,697	合計	21,673,697

特別会計			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
定期預金	12,000,000	活性化プロジェクト補助金	0
周年事業基金	468,486	奨学金(3年)	0
高女記念碑基金	243,600	教育援助金(全学年)	0
教育基金	21,784	周年事業基金	0
教育基金繰入金(雑収入)	105,000	小計	0
基金合計	12,838,870	基金合計	12,838,870

## 篁会 2022・R4年度収支予算(案)

2022年4月1日より2023年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金 (特別会計を含む)	16,805,842	教育奨学金	300,000
入会金(新入会員)	1,920,000	教育援助金	100,000
年会費	2,500,000	贈呈記念品費(1年・3年)	280,000
受取利息	20	篁会特別セミナー(1年)	150,000
雑収入	100,000	会報発行費	2,300,000
		竹早祭出店	50,000
		篁寿会	0
		学年幹事連絡会	0
		校歌祭	60,000
		新卒学年幹事交流会	150,000
		ホームカミングデー(含総会)	300,000
		総務費	30,000
		Webサイト運営保守	664,400
		Web・HP管理費	15,000
		DX推進費(新規)	100,000
		小計(除:特別会計分)	3,799,400
小計	4,520,020	繰越金	4,687,592
		前年度特別会計繰越金	12,838,870
合計	21,325,862	合計	21,325,862

特別会計			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
定期預金	12,000,000	活性化プロジェクト補助金	50,000
周年事業基金	468,486	奨学金(3年)	0
高女記念碑基金	243,600	教育援助金(全学年)	0
教育基金	126,784	小計	50,000
基金合計	12,838,870	基金合計	12,838,870

# デジタル化 推進中

## 01 LINE公式アカウント開設!!

皆様との繋がりを深めたいという思いから、昨年8月に箆会LINE公式アカウントを開設いたしました。イベントの告知や活動報告など、最新の情報を配信していく予定です。また、下記で紹介するサービスは、**全てLINE公式アカウントのトーク画面から簡単に移行可能となっております。**ぜひ友だち追加、お願い致します！



アカウント名【箆会】都立竹早高校同窓会  
ID : @495zfian

← QRコードをスマートフォンで読み込んで簡単に友だち登録！



### 箆会LINE活用術

- ①LINEの友だち追加
- ②トーク画面を開く
- ③下にある「メニューを表示」をタップ。
- ④希望のサービスをタップするだけで、簡単にページ移行が可能◎

## 02 デジタル de 年会費納入

現在箆会では年会費の納入を下記2つの方法からご自由に選択可能となっております。

- ①本書同封の振込用紙
- ②クレジットカード決済

そして現在この2つに加え、**電子決済**での納入方法を今年度中に開設できるよう、準備を進めています。準備が整い次第、LINE公式アカウントにてお知らせいたしますので、ぜひLINE公式アカウントの友だち追加をしてお待ちください。

※年会費は2口(2000円)以上となります。2口以上の口数をご入力ください。

※クレジットカード決済に関する詳細は、箆会ホームページ又はLINE公式アカウントのトーク画面よりご確認ください。

ご協力の程、何卒よろしくお願いたします！

## 04 会報誌いつでもどこでも!

本会報誌のデジタル版が配信されていること、ご存知でしたか? デジタル版なら、お手持ちのスマートフォンやパソコンで、いつでもどこでも閲覧可能です。また、過去のバックナンバーも配信しております。箆会ホームページ又はLINE公式アカウントのトーク画面から閲覧ページに移行できます。ぜひご覧下さい!!



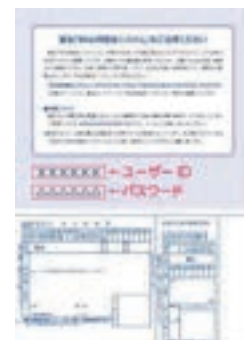
## 03 Web同窓会システム

### ■使い方

「Web同窓会システム」では、ご自身の会員情報や、同級生、先輩後輩の検索、会費のお支払い履歴の確認等が出来ます。ユーザーIDとパスワードについて、下の欄をご一読の上、ぜひ一度ログインしてみてください。

### ■ログインIDとパスワード記載箇所

ログインに必要なユーザーIDとパスワードは、同封の振込用紙の上段、図の位置に記載されています。



URL : <https://takamurakai.com/meibo/>  
右記のQRコードからページを簡単に開けます。



箆会



■箆会ホームページ  
<https://www.takamura-kai.com/>

■Instagram  
@takamurakai

■Twitter  
@taka6rakai

# 6月19日(日)よりオンライン公開開始!

## ワカタケるスペシャル・イベント 講師の紹介

### 「ドローンでホームカミング」 中山 浩典 (なかやま ひろのり)

幼少時より飛行機に興味を持つ。竹早在学時に世界記録達成の日本製人力飛行の新聞記事に接し、指導者である木村秀政教授のもとでの研究を志し日本大学理工学部に入學。クラブ活動でも航空部に所属し家用軽飛行機の操縦免許を取得。卒業後、川崎重工(株)を経てヤマハ発動機(株)勤務。「鳥人間コンテスト」出場チームに参画11回出場し4回優勝、初の琵琶湖横断成功等、数々のレジェンドを打ち立てる。業務では世界初の電動アシスト自転車「PAS」開発にも従事。現在「ドローン開発の最先端に立つ男」として、また無人ヘリコプター研究開発においても、農林業、物流、学術研究等世界を跨いだ幅広い分野で活躍中。



### 「ハツ場ダム、それから」 平塚 毅 (ひらつか つよし)

東京工業大学卒業後、清水建設(株)に入社。クウェート国の発電所建設に3年半従事後、国内のダム建設に携わる。北海道ピリカ、千葉県保台、岩手県鷹生、島根県尾原、山口県平瀬の各ダムを経て群馬県ハツ場ダム建設の統括責任者に就任。巡航RCD工法、点検用通路などのプレキャスト化を採用するなど、暑い夏も寒い冬も毎日700人の作業員を率いて懸命な努力を続け大幅な工期短縮により同ダムを完成させた。現在は福井県足羽川ダム建設に従事するとともに後輩の育成にも力を注いでいる。



### 篁会役員

〈2022年3月現在〉

会長	高倉 孝生	1971年卒	理事	廣川 州伸	1974年卒	理事	東島 粹生	2017年卒
名誉会長	堀切 哲也	竹早高校校長	理事	山田 祥子	1974年卒	理事	仁科 広貴	2017年卒
顧問	松本 紀子	1941年卒	理事	田村 浩之	1975年卒	理事	堤谷 美柚	2018年卒
顧問	星野 昌子	1950年卒	理事	松永 茂樹	1975年卒	理事	藤原 叶	2018年卒
顧問	磯貝 恵三	1955年卒	理事	佐々木 章子	1976年卒	理事	草野 竜哉	2019年卒
顧問	古関 恵一	1977年卒	理事	杉渕 明子	1978年卒	理事	小林 雅人	2019年卒
顧問	篠辺 修	1971年卒	理事	鳴沢 清隆	1979年卒	理事	白井 颯	2019年卒
副会長	高橋 政行	1973年卒	理事	本庄 忍	1979年卒	理事	松岡 舞	2019年卒
副会長	三野 直子	1974年卒	理事	源 美恵子	1979年卒	理事	宮岡あや野	2019年卒
副会長	宮沢 和正	1974年卒	理事	戸次 聡史	1982年卒	理事	池ヶ谷駿介	2020年卒
副会長	吉田 賢治	1975年卒	理事	柳屋 克子	1983年卒	理事	鈴木 彰太	2020年卒
理事	松丸 直樹	1969年卒	理事	大森 美樹	2016年卒	監事	佐藤美紗子	1964年卒
理事	川戸 直美	1974年卒	理事	向田 慶介	2016年卒	監事	岩井 良輔	1976年卒

### アドバイザー

岩野 英子	1968年卒
吉岡 新	1969年卒
松澤由利子	1970年卒
水田 茂夫	1971年卒
薩田須美子	1972年卒
中村 光宏	1972年卒
山口 順子	1976年卒

### 広報委員会 〈2022年3月現在〉\*編集長

吉岡 新	1969年卒	守谷ふみ子	1980年卒
松澤由利子	1970年卒	大森 美樹	2016年卒
薩田須美子	1972年卒	向田 慶介	2016年卒
宮沢 和正	1974年卒	東島 粹生	2017年卒
三野 直子	1974年卒	仁科 広貴	2017年卒
大貫 祥子	1974年卒	堤谷 美柚	2018年卒
廣川 州伸	1974年卒	藤原 叶	2018年卒
吉田 賢治	1975年卒	草野 竜哉	2019年卒
田村 浩之	1975年卒	小林 雅人	2019年卒
山口 順子	1976年卒	松岡 舞	2019年卒
杉渕 明子	1978年卒	宮岡あや野	2019年卒
*源 美恵子	1979年卒	池ヶ谷駿介	2020年卒
本庄 忍	1979年卒	鈴木 彰太	2020年卒
鳴沢 清隆	1979年卒		

### 篁会報



発行日  
発行

2022年4月30日

篁会

〒112-0002

東京都文京区小石川4-2-1

東京都立竹早高等学校内

Eメール takamurakai@gmail.com

https://www.takamura-kai.com

編集  
印刷

共立速記印刷株式会社

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋3-11-24

表紙

佐々木(染谷)恵子(1979年卒)

2021年度の会報誌「篁」32号におきまして、2007年卒業生の竹島洋平様を、誤って物故者として訃報欄に掲載してしまうという事故を生じてしまいました。竹島様の名誉を著しく傷つけ、ご友人や関係者を含めた多くの篁会会員の皆様にご心配ご迷惑をお掛けしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。なお、理事会協議に基づき、2022年度会報誌より訃報欄掲載をやめさせていただきます。

